

シックハウス症候群：初の被害調査へ 日弁連



The Knights

建材などの防腐剤や塗料、農薬などの影響で、微量の化学物質で体調を崩す「化学物質過敏症(CS)」について、日本弁護士連合会が初の調査に乗り出しました。シックハウス症候群の被害が顕著になってきたため、年度内に政府に対し、法規制のあり方などを提言するという事です。

「シックハウス症候群」という言葉が使われ始めたのは95年前後です。その後、殺虫剤や農薬などによる影響も含め、被害が拡大しています。CSの被害は家庭だけではなく、学校の新改築に伴う「シックスクール」という形で児童、生徒、教師らに増えており、文部科学省も調査を計画しています。また、会社で働く労働者にも広がっており、労災認定をめぐるも今後、問題となりそうです。しかし、被害者全体の概数などはどこも把握していません。

国はようやく2002年になって、建築基準法の改正などで一部の化学物質の使用禁止や室内濃度の規制に動きました。しかし、CS患者の救済とケアについては法的に手付かずの状態です。

日本弁護士会がCSの調査を開始したのも、こうした被害状況を見過ごせなくなったことからだそうです。新たな法規制を含め、被害の防止と救済に向けて具体的にどんな施策が必要なのか、議論が期待されています。

資料:11月16日付 毎日新聞 HP

分離分析課 高橋 真朋子

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 製品開発・品質管理に伴う化学分析 |
| 2 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 6 トータルサニテーション管理 |
| 3 水道法第20条に基づく水質検査 | 7 微生物に関する試験・調査 |
| 4 労働衛生管理に伴う作業環境測定 | 8 依託試験・研究・開発 |

